

支部だより

Newsletter No.51

広報委員会

(一社)日本道路建設業協会中部支部

〒460-0003

名古屋市中区錦三丁目7番9号

(太陽生命名古屋第2ビル8F)

TEL.052-971-5310





目次

支部長新年挨拶 01

幹事長新年挨拶 01

中部地方整備局長新年挨拶 02

建設物価調査会との意見交換会 03

アスファルト舗装技術に関する講習会 04

舗装施工管理技術者技術講習会 05

情報化施工 体験セミナー 06

防災訓練 07

安全委員会【安全パトロール】 08

技術委員会【建設技術フェア2015in中部】 10

中部緊急防災隊【防災隊式典・班長会議】 11

会員だより・事務所移転 12

編集後記 13

道路開通 14

■表紙写真

国土交通省「道の駅」シリーズ
国道167号

伊勢志摩

路線名	国道167号
営業時間	9:00～18:00
駐車台数	普通乗用車19台、大型2台、 身障者専用1台
休館日	無休

ここがポイント!

スペインの情緒溢れるおもてなし空間。当駅の隣、物産館では豊かな自然で取れた新鮮な農水産物を販売しています。的矢湾を眺めながら伊勢志摩の味覚を楽しめるレストランもオススメです。



駅長からのメッセージ

志摩市は伊勢志摩国立公園の真ん中。温暖な気候の中、歴史とリゾートが共存する町。フルシーズンとにか楽しく面白い。駅周辺には、スペインをモチーフにしたテーマパーク「志摩スペイン村」バルケエスパーニャ、伊勢神宮内宮別宮「伊雑宮」、名水百選「天の岩戸」などの施設があり、全国的に有名な清浄浄化「的矢力キ」をはじめ、「伊勢えび」や「あのりふく」を使った料理が味わえます。

新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。昨年は道路建設業にとって『アンバランスな一年』でありました。それは、復興の東北地方とオリンピックに向けて急ピッチでインフラ整備に邁進する首都周辺の活況、それに比してその他の地域のインフラ投資、中でも舗装予算の低迷であります。我が中部地方も、東海環状自動車道、新東名の整備など、華やかな話題もありますが、全体量としては不況と言わざるを得ない一年でした。公共事業費の低迷もさることながら、国民の耳目がトンネル、橋、防災の方へ向いており、殊に舗装のメンテナンスの位置付けが下がった事も原因の一つとなりました。そのような状況により中部地域から技術者や資機材の流出が見られ、将来への不安を感じるどころでもあります。

さて、新年は申年です。前述した事態から、サル「去る」と促え、上昇、躍進の年にしたいものです。中部支部としても、安全活動の更なる推進や労働環境の向上に向けた取り組みなどを中心に活動します。これらは、学生、生徒、そして女性の入職に欠かせない事柄であり、社会基盤の整備と防災活動を通じて、社会に貢献したいと願う我々共通の大切な活動であります。

また、本年は選挙の年でもあります。従来から我々道路建設業協会は、投票への抱束が他産業と比べると緩いと云われて来ましたが、今回こそは明確な意思を表す機会であると認識し、活動する計画です。

会員各位ならびに関係の皆様方には、当協会の活動に本年も格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。



支部長
青野 俊弘
東亜道路工業株式会社 中部支社 常務執行役員支社長



明けましておめでとうございます。

会員各社の皆様には良い年を迎えられたことと存じ上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は恒例行事等に多少の遠慮や、窮屈さを感じながらの一年であったように思います。今年はこれ以上、控え目な年にならないようにしたいものです。

さて道路業界の大きな課題としてここ数年、担い手である若者の入職、定着が低いと叫ばれています。何故若い人が忌み嫌うのかというと仕事が危険で綺麗な職場環境ではない、休日が少ない、きつい仕事の割に給料が安い等だそうですが一歩踏み込んでやれば改善できることは多少なりともあるんじゃないか…と大いに思っています。皆さんもそうお考えでしょう。でも一人や二人じゃ無理ですから会員各社一丸となって将来夢のある業界に近づけるように力を合わせていきましょう。それにはやはり仕事が途切れず継続発注される事が大前提にならないと後ずさりのスパイラルに巻き込まれてしまいます。それも含めて青野支部長、事務局、会員各社のお力を借りながら少しでも前進できたらいいなあと思っています。

話は変わりますが三重地区では今年5月に伊勢志摩サミットが開催されます。かなり厳重体制のなか忙しくなるのではないのでしょうか。

私も近々、恒例のお伊勢さんに初詣に行くつもりです。サミット後、仕事が減らないようにと祈ると道建協中部支部と会員各社の益々の御隆盛そして各社社員様のご多幸ご健勝をしっかりと祈念して参ります。

では本年が皆様にとりまして良い年となりますように!!



幹事長
斉藤 克巳
大林道路株式会社 中部支店 取締役常務執行役員 支店長



国土交通省
中部地方整備局長
茅野 牧夫

新年の ご挨拶



平成28年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日本道路建設業協会 中部支部の皆様におかれましては、平素より中部地方整備局の事業の推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、9月の台風17号18号は、各地に甚大な被害をおよぼし、中部管内の災害対応、自治体への支援に加え、関東や東北へTEC-FORCE(大規模災害発生時に被災地を支援するために派遣される国土交通省の組織)を派遣し、排水支援などを行いました。被災された地域の一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

また、去年は、伊勢志摩サミット開催が決定され、11月には国産初のジェット旅客機「MRJ」が初飛行するなど、中部地方の飛躍的な発展に向け、地域の期待も大いに高まっているところです。

こうした中、中部地方整備局では、地域の防災力を高める防災・減災対策に加えて、インフラの老朽化対策を戦略的に推進するとともに、ストック効果を発揮する社会基盤の充実・強化と、リニア開業を見据えた地域づくりに全力で取り組んで参ります。

更に、建設産業は、地域づくりの担い手として、災害時

の地域の守り手として必要不可欠であり、完全週休二日制、若手や女性技術者の登用・育成など、魅力ある建設産業の持続的な発展に取り組んで参りますので、今年も引き続き、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、日本道路建設業協会 中部支部の皆様にとって、幸多き年であることを心より祈念し、年頭のご挨拶といたします。



建設物価調査会との意見交換会



平成27年度(一社)建設物価調査会との意見交換会が10月8日道建協中部支部会議室において、道建協より14名物価調査会より5名の出席のもと開催されました。道建協斉藤幹事長の挨拶に始まり、意見交換が行われました。

まず、道建協より中部圏内の建設副産物受け入れ表記について意見が出されました。

現在、愛知県・三重県の2か所での掲載しかないものを、地域毎の掲載を要望。続いて、現在の労働者不足による単価上昇と調査時とのタイムラグによる単価差を、主要材料動向と同様に記載される様要望しました。その他、参加者より多くの意見が出され活発な意見交換会となりました。

現在我々、建設業を取巻く環境は日々厳しさを増しているのが現状です。中でも若手入職者が集まらない状況は深刻な問題となっております。魅力ある産業を目指す為にも、適宜適正な単価が反映される事を願います。

約一時間に亘る意見交換会は、布村副委員長の閉会の挨拶で終了しました。

アスファルト舗装技術に関する講習会

愛知県アスファルト合材協会 (一社)日本道路建設業協会中部支部

愛知県アスファルト合材協会(川中喜雄会長)と(一社)日本道路建設業協会中部支部(青野俊弘支部長)は7月8日、名古屋市中区のホテル名古屋ガーデンパレスで『平成27年度アスファルト舗装技術に関する講習会』を開催し、会員企業から160人が参加、4時間にわたり最新のアスファルト舗装技術を学びました。

冒頭、アスファルト合材協会技術管理委員会の難波陽一担当理事は「進化する材料や技術を習得し、現場でプロとして活躍してほしい。技術者不足で建設ICTの取り組みが進んでいるが、現場の基本は技術者が担っている。学んだ知識を今後の仕事に役立ててもらいたい」と呼びかけられ、この後の講習では4人の講師が下記内容の講習を行いました。

■講師 国土交通省中部地方整備局 道路部
道路管理課長補佐 浅井 洋二 様
『道路をめぐる最近の話題』

■講師 (一社)日本道路建設業協会 中部支部
企画調査課長 伊藤 政夫 様
『アスファルト混合物事前審査制度について』

■講師 鹿島道路株式会社 中部支店
工事部担当部長 水野 涉 様
『鋼床版上の舗装について』

■講師 東亜道路工業株式会社 中部支社
技術部長 杉浦 裕之 様
『アスファルト舗装の技術動向』

最後に質疑応答が行われ、閉会挨拶を(一社)日本道路建設業協会中部支部 松山英吉技術委員会委員長が述べられ講習会が終了しました。



舗装施工管理技術者技術講習会



去る平成27年9月15日、日本道路建設業協会(道建協)は、2015年度舗装施工管理技術者技術講習会を名古屋市中区の名古屋産業振興公社デザインホールで開きました。

中部支部会員企業などから235名が参加し、舗装事業を

めぐる社会情勢や最新の舗装技術・法令などを学びました。冒頭では、同協会中部支部の青野俊弘支部長が「東日本大震災などの大規模災害でも素早い対応・復旧に活躍したのは、業界の誇りである。今後も能力を高め革新的な技術開発で社会に貢献していきたい。この講習を技術力、知識の向上にいかしてほしい」と挨拶をしました。

プログラムでは、まず国土交通省中部地方整備局道路部の田邊千秋道路情報管理官が「舗装事業をめぐる社会・経済情勢と各種制度」について御講演をされました。

このあと協会からは、環境・安全委員会安全部会の加藤秀幸委員が「舗装工事の安全対策」、同仲村功委員が「建設副産物対策」、技術委員会の安藤政浩委員が「最近の舗装技術の動向」についてそれぞれ解説を行いました。

今回の講習でもCPDS認定プログラムで5ユニットが付与されました。



青野支部長挨拶

情報化施工 体験セミナー

CPDS認定 7ユニット

(一社)日本道路建設業協会中部支部 主催

開催：2015年9月10日 9:00~17:30

場所：中日本テクノヤード(愛知県小牧市 地内)

「聞く」と「見る」とは違う 「見る」と「体感する」は全く違う



3Dマシンコントロールシステム 砕石敷均しフィニッシャー



2Dマシンガイダンスシステムバックホー



杭ナビ簡単測量(LN-100)



GNSS出来形管理(Z-Plus)



杭ナビ簡単測量座学(LN-100)



セミナー実施状況

■セミナースケジュール

時間	セミナー内容
9:00~10:00 座学	高精度3次元データの利有効 ～最新計測技術とBIM/CIM展開 TREND-CORE～
10:15~11:00 座学	自動追尾光波測量機を使った簡単測量 ～Layout Navigatorの現場活用事例～
11:15~12:00 座学	高さ補完機能付RTK-GNSSを用いた出来形管理の手引き ～Z-Plusの現場活用事例～
13:00~17:30 実機体験	自動追尾光波3D-マシンコントロール 砕石敷均しフィニッシャー/2Dマシンガイダンス バックホー(Leica製) RTK-GNSS 出来形管理システム/LN-100 簡単測量 アンケート記入

参加人数

当初20数名
予定しておりましたが
連日の降雨のため、
参加者13名で開催致しました。

参加者の 意見

- ・他地区でも開催して欲しい。(静岡・三重・岐阜)
- ・各機材の現場でのデモを希望します。
- ・杭ナビに非常に興味がありました。
- ・早速、現場で採用してみたい。

防災訓練

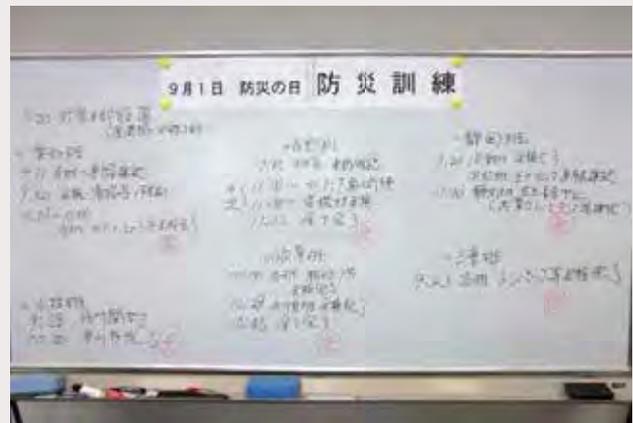
大地震を想定した訓練を実施

中部緊急防災協会は9月1日に南海トラフ巨大地震の発生を想定して防災訓練を実施しました。訓練は、地震発生(想定)後の午前9時、名古屋市中区にある日本道路建設協会中部支部に役員ら30人が駆けつけて対策本部を立ち上げ、ただちに岐阜、愛知、三重、静岡、長野の各地区責任者に給水タンクの保管場所の確認・点検・清掃・架台組立て、大型土のう(トンバック)の保管状況の確認を指示しました。各地区責任者はそれぞれ、各班長(全16班)に本部からの指示を伝達、これを受けた各班が機敏に行動し、結果を対策本部に報告しました。

普段の活動がこの日の訓練にも活かされ、指示・確認・報告がスムーズに実施されました。

この訓練は、毎年『防災の日』に実施しており、防災意識の向上および会員相互の緊密な連携・協力で訓練することにより、迅速な行動のための連携体制の確立と防災力の向上を図ることを目的としています。

また、当協会は1979年から中部緊急防災隊を組織しており、道路管理者等の要請を受け、災害時の緊急対応に当たっています。



安全委員会

道路建設業の健全な発展の一環として発注者との合同パトロールを行いま道路(株)は、中部地区高速道路保全工事安全対策協議会及び当委員会とた。各パトロール結果は、報告書を作成し各発注者、協会中部支部に提出しなお、9月11日に予定しておりました名四国道事務所との国道23号岡崎バ

●平成27年度 新名神建設工事・伊勢道保全工事安全パトロール

1.平成27年10月20日(火)

2.パトロール対象工事

- ・新名神高速道路 四日市舗装工事 大林道路(株)・(株)佐藤渡辺JV
- ・伊勢自動車道 津管内舗装補修工事(平成26年度) 東亜道路工業(株)

3.参加者名簿

中日本高速道路(株)

名古屋支社 建設事業部	森本企画統括担当L
名古屋支社 保全サービス事業部	福澤保全T担当L 山田担当
四日市工事事務所	川辺専門役 池田工事長
津保全サービスセンター	成瀬副所長

中部地区高速道路保全工事安全対策協議会

メンテ名古屋事業第二部長	石本 秀樹
日本道路(株)	森下 隆敏
大成ロテック(株)	西川了

(一社)日本道路建設業協会中部支部 安全委員会

安全委員長	(株)ガイアートT・K	民部 順一
安全副委員長	フジタ道路(株)	水口 孝
安全委員	(株)市川工務店	小林 功和
〃	(株)竹中道路	坂井 桂
〃	北川ヒューテック(株)	今井 和昭
〃	地崎道路(株)	朝比奈 和徳
〃	東京舗装工業(株)	石田尾 悟
〃	(株)昭建	澤田 三郎
〃	常盤工業(株)	志田 睦穂
〃	大有建設(株)	中野谷 真己
〃	福田道路(株)	横山 和夫
〃	三井住建道路(株)	松田 雄二
〃	戸田道路(株)	栗田 吉典
〃	(株)ガイアートT・K	遠藤 孝也
幹事長	大林道路(株)	斉藤 克巳



した。直轄工事は、「労働災害の撲滅」を目指して多治見砂防国道事務所と当委員会が合同安全パトロールを実施。中日本高速の合同パトロールでした。パトロール参加者、現場担当者におかれましては、当委員会にご協力いただき誠に有難うございました。今後も安全意識を向上させ「労働災害の撲滅」を目指し、安心して従事が出来る施工環境作りにご協力願います。イパス合同安全パトロールにつきましては、台風18号の影響により中止しました。

●平成26・27年度 坂祝バイパス舗装工事安全パトロール

1. 平成27年11月30日(月)

2. パトロール対象工事

- ・平成26年度 21号坂祝BP北部舗装工事 福田道路(株)
- ・平成26年度 21号坂祝BPトンネル舗装工事 (株)ガイアートT・K
- ・平成27年度 21号坂祝BP南部舗装工事 (株)岐建

3. 参加者名簿

国交省中部地方整備局

道路部	特定道路工事対策官	森田 耕司
多治見砂防国道事務所		
	副 所 長	秋田 修
	工務二課長	山口 隆
	建設監督官	井上 重人

(一社)日本道路建設業協会中部支部 安全委員会

安全委員長	(株)ガイアートT・K	民部 順一
安全副委員長	フジタ道路(株)	水口 孝
安全委員	地崎道路(株)	朝比奈 和徳
"	戸田道路(株)	粟田 吉典
"	(株)佐藤渡辺	石井 直孝
"	北川ヒューテック(株)	今井 和昭
"	(株)ガイアートT・K	岩津 和久
"	(株)ガイアートT・K	大山 泰司
"	(株)昭建	澤田 三郎
"	常盤工業(株)	志田 睦穂
"	大有建設(株)	中野谷 眞己
"	三井住建道路(株)	松田 雄二
"	福田道路(株)	横山 和夫



技術委員会

建設技術フェア2015in中部

今回で19回目を迎えた「建設技術フェア2015in中部」が10月21日・22日の2日間、吹上ホールで開催されました。中部地方整備局と名古屋国際見本市協会の主催で、防災・災害対策など5分野に昨年を上回る207技術(251社、329小間・土間)を展示しました。アイドルユニット「dela(デラ)」もオフィシャルサポーターとして参加しました。

オープニングセレモニーでは、茅野牧夫中部地方整備局長、河村たかし名古屋市長、井上和幸日本建設連合会中部支部長が挨拶をされました。

両日とも晴天に恵まれ、屋外展示場ではドローンや建設機械などロボット技術の実機実演も行われました。

道建協の社会・環境貢献活動指針に基づき、初日である21日にプレゼン会場にて青野俊弘支部長が道の駅「あやま」(三重県伊賀市)の管理者、伊賀市役所商工労働課の伊藤隆之主査に贈呈証とAED本体、目録を手渡しました。会場では、AEDの機器説明や取り扱いのデモンストレーションも実施されました。



中部緊急防災隊

防災隊式典・班長会議

日本建設業協会中部支部(青野俊弘支部長)の会員を中心に、愛知、岐阜、三重、静岡、長野の中部5県から道路事業に携わる有志で結成する「中部緊急防災隊」(青野本部長)が7月22日名古屋市名東区のサンプラザシーズンズで「中部緊急防災隊式典」を開催した。式典には中部5県から180人が参加、午前中には各地区の代表者と事務局が班長会議を開催し、各班の要望に対し意見の取りまとめと対応を協議した。

式典では、開催の辞、隊旗入場に続いて、青野本部長が「中部防災隊は、社会貢献を基本理念とし緊急時に道路交通網を確保する為に設立された。隊員は、緊急連絡体制の強化や資機材の点検を充実させ、災害時にはより迅速な対応をお願いしたい」と訓示した。

来賓挨拶では、中部地方整備局の田邊千秋道路部道路情報管理官が「昨年度は、御嶽山の噴火や高山市豪雨災害など、管内でさまざまな災害が発生した。中部整備局もTEC-FORCE(テックフォース、緊急災害対策派遣隊)を派遣しているが、災害対応は地域を知る皆様方が必要不可欠」と述べ、期待を寄せた。

また、日本道路建設業協会本部の長谷川仁環境・安全委員長が「期待される防災隊を目指し、より一層、組織の充実を図ってほしい」と述べた。

最後に民部順一隊長が綱領を朗読し「規律と連携のもと、災害発生時に機動力と技術を駆使して復旧に当たり、公共の福祉に寄与する」と力強く誓った。



青野本部長訓示



来賓各位



防災隊式典



班長会議



来賓挨拶 田邊道路情報管理官

会員だより

eco検定

12月の日曜日、eco検定を受験してきた。eco検定とは、商工会議所が主催する環境社会検定試験という民間資格で、複雑・多様化する環境問題を幅広く体系的に身に付けることができ、合格者はこれまでに22万人にのぼる。



eco検定 テキスト

今、世界に目を向けると、先のCOP21における「パリ協定」の採択で、2020年以降の新たな温暖化対策の枠組みが決まった。産業革命以前と比べ、世界の平均気温の上昇を2℃未満に抑える必要があるといわれていて、途上国を含むすべての国が



温暖化ガスの削減義務を負うこの新たな枠組みは、地球温暖化の阻止へ歴史的な一歩を踏み出したものといえる。

その中で日本はというと、世界の2%弱の人口に対し、経済活動の大きさでは世界全体のGNPの8%に相当し、地球環境に少なからぬ影響を及ぼしている。また、資源・エネルギーの大半や食料のかなりの部分を海外に依存しており、地球環境から多くの恩恵を享受している。そのため、私たちは地球人として地球温暖化を回避し、持続可能な社会を築いていく責任がある。

eco検定で学んだ環境問題に関する知識をもとに、身近なところから具体的な行動を起こしていければと思う。ちなみに、試験の合否発表は1月の下旬であるが、eco検定合格者をエコピープルと呼ぶそうである。環境問題に関心をお持ちの皆さんもエコピープルを目指してみてもいいだろう。



福田道路株式会社 中部支店 横山 和夫

事務所移転

- (株)NIPPO 中部支店 ▶ 〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-24 名古屋第一ビル5階 TEL 052-211-6571(前と同じ)
- 大日本土木(株) 名古屋支店 ▶ 〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-24 名古屋第一ビル5階 TEL 052-201-1115(前と同じ)

祝 伊勢志摩サミット 2016.5.26,27



今年、いよいよ
日本が議長国となり
伊勢志摩に
世界のリーダーたちを
お招きすることとなります。

編集 後記

新年明けましておめでとうございます。

初春にあたり支部長、幹事長、中部地方整備局長からのご挨拶を掲載しています。支部長からは、昨年の『アンバランスな一年』から、“申(去る)”と躍進の年へのメッセージを頂きました。

アスファルト舗装技術に関する講習会では7月に開催された最新の舗装技術に関する講習会の状況をご案内しています。情報化施工体験では「見る」「体感する」体験セミナー記事をご紹介します。技術フェア

では「学生交流ひろば」を設置し多くの学生に道路建設業の必要性をPRしました。

事業を通じ社会に貢献する。広報委員として、世の中の役に立つために、道路建設業協会の果たすべき使命・社会貢献などについての理解を得るための広報・PRをこれまで以上に考えていくことが必要と思っています。明日はもっといい日になる。本誌が道路建設業の明日へとつながるものになるよう努めました。ご一読いただけると幸いです。(STK 木村)

連絡先

(一社)日本道路建設業協会 中部支部「広報委員会」まで

●TEL 052-971-5310 ●FAX 052-971-5375

●ホームページ <http://www.dohkenkyo.or.jp/> ●Eメール chubu@dohkenkyo.or.jp

道路開通

Road opening of traffic

開通!

●平成27年11月29日(日)
国道41号下原改良(約1.1km)

下呂市金山町下原 から 下呂市金山町中切



▲完成式典



下原トンネル▶



●平成27年12月19日(土)
国道1号日光大橋の新橋(約110m)

海部蟹江町二級河川日光川



◀開通式



一般社団法人
日本道路建設業協会中部支部